６　化学物質関係

表－６　使用化学物質

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 製造・使用工程  又は  実験・研究名 | 物質名  化学式 | 用途 | 状態  (個液気  ・濃度) | 年間  使用量 | 保管方法 | 特性  \*1 | 関係法令  \*2 | 排出抑制策 | | | | 環境への排出状況等\*3 | | | | | 管理規定  の名称 |
| 工程等 | 大気 | 水質 | 廃棄物 | 大気 | 地上濃度 | 基準と根拠 | 水質 | 廃棄物 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

＊１：急性毒性等を記載すること。

＊２：関係法令：例：毒物及び劇物取締法､消防法などを記載する。

＊３：排出状況は量及び(濃度)を記載すること。また、中和されたり、酸化され元の状態でなくなった場合は対象外とする。

(大気環境)　地上濃度は記載要領で規定する式により計算で求める。その際、計算書を添付する。

(大気環境)　基準と根拠については、ACGIHで定める作業環境基準(TI.V-TWA)の1/1000を暫定的に一般大気環境基準目標とし、例えば0.05ppm(ACGIHの1/1000)などとする。

図－６　化学物質の使用、発生及び処理のフロー図

|  |
| --- |
|  |